

《担当者名》山田 律子 [rich@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

老人看護専門看護師を目指す者として、認知症や疾患・障害をもつ高齢者の生活上の課題に着目し、看護実践の質向上に貢献する研究を行うため、系統立った文献レビューによって自己の研究課題を明確にし、課題に適した研究方法を吟味し、研究計画書を作成する。倫理的配慮に基づきデータを収集・分析し、論文を作成・発表することで、一連の研究能力を養う。

【学修目標】

1. 自己の研究課題を明確化すると共に、テーマに沿った文献検討を行うことができる。
2. 自己の研究課題に対して、適切な研究デザイン・方法を選択し、一貫性がある実施可能な研究計画書を作成できる。
3. 倫理的配慮に基づきデータ収集および分析ができる。
4. 学位論文としてまとめ、発表することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	自己の研究課題の明確化	・ 自己の経験に基づく研究課題を、国内外の先行研究のクリティークと討論を通して明確化する。	山田
	研究計画書の作成	1) 個別の研究課題に関する研究計画書を作成する。 2) 研究計画書の作成に際して、指導教員との個別指導やゼミ形式での討論を重ね、精度を高めていく。	山田
	研究の実施から論文の作成・発表まで	1) 研究対象者および研究機関に研究計画の説明と同意・承諾を得るための手続きを体験的に学ぶ。 2) 倫理的配慮に基づき研究を実施し、適宜、指導教員による指導を受けながら研究を進める。 3) 口頭・ポスター発表を通して、プレゼンテーションの方法と技術を学ぶ。	山田

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

研究の準備状況、取り組み姿勢、研究方法の選択や実施の適切性が50%、論文審査基準に基づく評価が50%。

【教科書】

アメリカ心理学会(APA)/前田樹海, 江藤裕之, 田中建彦訳(2011). APA論文作成マニュアル. 第2版, 医学書院.

【学修の準備】

各自で計画したスケジュールに沿って、主体的に研究を遂行するとともに、進捗状況や課題を簡潔に報告できるように準備して臨む。